

太翔館 郷土史講座

道庵日乗から垣間見えるもの

古谷道庵日乗に記載されている記述を基に時代背景を読み解く。

ふるたに どうあん
古谷道庵
文化十五（一八一八）〜
明治十一（一八七八）

下関市豊浦町宇賀村湯玉の地下医
（地元の開業医）として小串から二見の
広範囲で往診する。
医業の傍ら、天保七（一八三六）年
より現在まで日乗（日記）を欠かさない。
道庵が残した日記は、地元で暮らす庶民
の視点で記録されており、書かれたジャンル
も社会情勢から庶民の生活まで幅広い。

第一回 異国船を見る 令和四年十一月二十三日（水・祝）
道庵の異国船の初見から近海の航行に至ること

第二回 異国船を見る 令和四年十二月十日（土）
下関戦争、肥中港、その後の世情、漂流民、
中山忠光卿に関すること

第三回 長井雅樂のこと 令和五年一月十五日（日）
来歴、幕朝間の周旋

第四回 長井雅樂のこと 令和五年二月十一日（土・祝）
藩是の変遷と賜死

*いづれも午前十時半より、太翔館二階講堂 予約不要

三十席アリ口

豊北歴史民俗資料館 高野修一

下関市立豊北歴史民俗資料館 ■開館 9:00～17:00（入館は17時まで）
■下関市豊北町大字滝部 3153-1 ■休館 月曜日休館（月曜日が祝日又は振替休日にあたる時は翌平日）
☎083-782-1651 ■入館無料